

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人調和 SHC 倶楽部

代表者・役職名 氏名 会長 小高 拓也

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

文化活動支援を通じた地域住民の『やりがい、生きがいの場』作り

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成10年に閉校となった調布市立大町小学校跡に地域コミュニティの核を目指して設立。現在はNPO法人格を取得した総合型地域スポーツクラブとして、スポーツ(Sports)、健康(Health)、文化(Culture)の3つの領域において、44の教室・サークルを展開。会員数は大人:649名、子ども(18歳以下):559名<2017年11月8日時点>

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

仲間が集まって楽しく歌を歌ったり、作品を作って鑑賞し合う場が、ストレス&孤立化社会において心と体に良いことは広く知られている。一方でスポーツ活動に対する助成は比較的多く存在するが、本件のような文化活動を支える活動に対する仕組みが少ないため、満足な活動ができず自己負担を強いられている団体やサークルが多い。そこで地域の人が気軽に集まって、好きな歌を歌ったり、音楽を演奏したり、絵や作品を作って発表できるような、地域住民の生きがいの場作りを支援したい。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

◆当倶楽部として、電子ピアノを購入する。

<利用者>

①当倶楽部の該当サークル:

⇒歌声広場、ゴスペル、キッズダンス、(会員計50名強)が毎週の活動で利用。

②当倶楽部が施設管理を請け負っている調布市の市民施設の会議室に購入する電子ピアノを常設することで、この施設を利用する多くの市民団体も気軽に利用できるようにする。

<利用期間>・来年度以降も継続して活用できるため、非常に多くの市民、住民に活用してもらえる。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

■結果<利用者人数・利用団体数>

①当倶楽部としての利用者延べ人数⇒年間1,800名以上(50名/週×36週=1800名)

②地域住民の団体:年間延べ600団体以上⇒年間利用可能日300日×4枠×利用率(0.5)=600団体

■成果①:歌や踊りを行う団体が電子ピアノを気軽に使える利用施設ということが広がり、継続利用が増えた。

成果②:持ち運び可能な電子ピアノを購入できたことで隣接する体育館での利用も可能となり、気軽に楽しめる活動の場の創出に貢献した。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

電子ピアノの設置後の利用者へのヒアリングの中で電子ピアノの他に、ダンス・踊りの様子を写す大きな鏡についてのニーズも高いことが分かり、市民活動を支える場の工夫としてさらに充実させていきたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・**特になし**

